



データコレクタ

CyclopsM

設定ガイド (BT スキャナ版)

Rev 1.1 : 2023 年 6 月 27 日

目次

はじめに.....	6
1. 各種設定変更.....	6
1.1 設定初期化(出荷状態に戻す)設定.....	6
1.2 設定変更状態通知.....	7
2 システムに関する設定.....	7
2.1 Bluetooth デバイス名設定.....	7
2.2 Bluetooth PIN コード設定.....	7
2.3 電源 OFF 時間設定.....	8
2.4 ブザー音程設定.....	9
2.5 ブザー音量設定.....	9
2.6 キータッチ音設定.....	9
2.7 バイブレーション設定.....	10
2.8 バーコード読取り失敗時のブザー音通知設定.....	10
2.9 Bluetooth 再接続/切断時のブザー音通知設定.....	10
2.10 バーコード読取りタイムアウト設定.....	10
3. HID 通信に関する設定.....	11
3.1 HID 送信データフォーマット.....	11
3.2 ヘッダー(Header)の付加設定.....	11
3.3 フッター(Footer)の付加設定.....	12
3.4 付加文字 1 (Termination_1)設定.....	13
3.5 付加文字 2 (Termination_2)設定.....	14
3.6 付加文字 3 (Termination_3)設定.....	14
3.7 UP キー押下時の送信設定.....	15
3.8 DOWN キー押下時の送信設定.....	16
3.9 ファンクションキー押下時の送信設定.....	17
3.10 キャラクタ間のディレイ時間設定.....	18
3.11 iOS/Android と Windows でのキーボード配列設定.....	19
3.12 バーコード内英字の大文字/小文字変換設定.....	19
4. SPP 通信に関する設定.....	20
4.1 接続方法設定.....	20
4.2 接続先簡易切替え設定.....	20
4.3 SPP 送信データフォーマット.....	21
4.4 プリフィックス(Prefix)の付加設定.....	21
4.5 桁数(Digit)の付加設定.....	21
4.6 ヘッダー(Header)の付加設定.....	22
4.7 フッター(Footer)の付加設定.....	22
4.8 サフィックス(Suffix)の付加設定.....	23
4.9 バッテリステータス通知.....	23

4. 9. 1	バッテリーステータス通知設定	23
4. 10	UP キー押下時の送信設定	24
4. 11	DOWN キー押下時の送信設定	24
4. 12	ファンクションキー押下時の送信設定	25
4. 13	フロー制御	25
4. 13. 1	ACK/NAK 設定	25
4. 13. 2	リトライサイクル設定	26
4. 13. 3	タイムアウト設定	27
5.	バーコード読取りに関する設定	28
5. 1	一次元反転バーコード読取り設定	28
5. 2	コード ID キャラクタ転送設定	28
5. 2. 1	AIM コードの付加設定	29
5. 2. 2	Symbol コードキャラクタの付加設定	30
5. 3	スキャンモード	32
5. 4	照合回数	32
5. 5	クワイエットゾーン	33
5. 6	バーコード読取り無効化設定	33
5. 7	デコードの厳密さ	34
5. 8	UPC-A	34
5. 9	UPC-E	35
5. 10	JAN/EAN-13	36
5. 11	JAN/EAN-8	37
5. 12	Code 39	38
5. 13	Code 128/GS1-128	38
5. 14	NW7 (Codabar)	39
5. 15	ITF (Interleaved 2 of 5)	40
5. 16	GS1 DataBar	41
6.	GS1-128 (UCC/EAN-128) バーコードの変換に関する設定	42
6. 1	アプリケーション識別子 (AI) 毎に括弧「()」を付加する設定	42
6. 2	可変長区切り文字の付加設定 (SPP)	42
6. 3	可変長区切り文字の変換設定 (HID)	43
6. 4	可変長区切り文字 (GS キャラクタ) 送信後のディレイ時間設定	44
7.	読取り桁数に関する設定	45
8.	先頭桁切捨ておよび後尾桁切捨て設定	46
8. 1	UPC-A	46
8. 2	UPC-E	46
8. 3	JAN/EAN-13	46
8. 4	JAN/EAN-8	47
8. 5	Code 39	47
8. 6	Code 128	47
8. 7	NW7 (Codabar)	48

8. 8 ITF (Interleaved 2 of 5).....	48
9. 設定出力.....	48
10. 出荷時の設定(初期値).....	49
10. 1 システムに関する出荷時の設定.....	49
10. 2 HID 通信に関する出荷時の設定.....	49
10. 3 SPP 通信に関する出荷時の設定.....	49
10. 4 バーコード読取に関する出荷時の設定.....	50
11. 複数台の設定用バーコード表の作成.....	51
12. 英数字バーコード.....	52
付録 1 ASCII コード表.....	55
付録 2 キーコード表.....	56
改訂履歴.....	60

はじめに

本書は、CyclopsM の BT スキャナ版の各種設定を変更する方法について説明しています。別紙の「ユーザーズマニュアル (BT スキャナ版)」と合わせてお読みください。

BT スキャナは、Bluetooth にてリアルタイムでデータを送信します。

HID および SPP プロファイルに対応しています。

HID を使用する際、接続先のホストデバイスが iOS、Android の場合は、キーボード配列を英語に、Windows の場合は日本語に設定してください。

SPP を使用する場合は、Windows、Android 等のホストデバイスに専用アプリケーション※が必要です。

※専用アプリケーションは独自に開発して頂く必要があります。

なお、お客様の仕様に合わせ弊社でアプリケーションを開発することも可能です。

アプリケーション開発をご検討の際は弊社営業部までお問合せください。

1. 各種設定変更

本機は工場出荷時の設定で一般的な業務ができるようになっていますが、必要に応じて、各種の動作設定を変更する事によりカスタマイズが可能です。

カスタマイズする場合は最初に初期化バーコードを読み取り、工場出荷状態にして設定を開始してください。

BT スキャナのスキャン開始へ遷移後に、本書の設定バーコードを読み取ることで設定の変更ができます。Bluetooth 接続中、未接続に関わらず、設定バーコードを読み取り、設定の変更ができます。

または、弊社ホームページの「CyclopsM 設定サイト」で設定バーコードをスキャンしてください。

CyclopsM 製品ページ : <https://www.alf-net.co.jp/products/data-collector/cyclops-m-alfark-6100x/>

複数台を同じ設定にする場合は、「11. 複数台の設定用バーコード表の作成」に簡単に複製が出来る方法を記載しています。

1.1 設定初期化 (出荷状態に戻す) 設定

以下のバーコードを読み取ることで設定の初期化を行います。

スキャナ設定、ペアリング情報など全ての情報を工場出荷状態に戻します。

工場出荷状態は、「10. 出荷時の設定 (初期値)」に記載されています。

設定初期化	バーコード	コード
通常バーコード		A012A
反転バーコード設定時		

1. 2 設定変更状態通知

各種設定バーコードを読取るとスキャン LED 及びブザーで設定成功又は設定失敗が判別できます。

バーコードリーダーの状態	スキャン LED	ブザー音	バイブレーション※
設定成功	緑点灯	ピーピ	長い振動+短い振動
設定失敗	赤点灯	ブブブ	振動なし

※ バイブレーション設定が「振動あり」の場合に、設定成功でバイブレーションが振動します。設定パラメータの間違ひがある場合に設定失敗となります。パラメータの確認をしてください。

2 システムに関する設定

本項ではシステムに関する設定についてご説明します。

2. 1. Bluetooth デバイス名設定

デバイス名は本機とホストデバイスとペアリングをするために使用します。

デバイス名の初期値は「CyclopsM+Bluetooth デバイスアドレスの下 4 桁」です。

デバイス名は 31 文字まで設定可能であり、0～9、A～Z、a～z を使用します。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: デバイス名が「ALF12345」の場合、以下のようにスキャンします。

「B011A」「A」「L」「F」「1」「2」「3」「4」「5」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
デバイス名	入力開始		B011A

※ 一度デバイス名を変更するとデバイス名をみの初期化をする事はできません。設定初期化をして工場出荷状態に戻します。

2. 2 Bluetooth PIN コード設定

PIN コードの初期値は「0000」です。

PIN コードは 16 文字まで設定可能であり、0～9、A～Z、a～z を使用します。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: PIN コードが「1234」の場合、以下のようにスキャンします。

「B018A」「1」「2」「3」「4」「ZZ」












機能	状態	バーコード	コード
PIN コード入力	入力開始		B018A

Bluetooth PIN コード初期化

機能	バーコード	コード
PIN コード初期化 「0000」		A017A

2.3 電源 OFF 時間設定

最後のキーを押してから自動で電源を OFF にする迄の時間設定です。

機能	状態	バーコード	コード
電源 OFF 時間	1 分		A004A1
	3 分		A004A2
	5 分		A004A3
	10 分 (初期値)		A004A4
	15 分		A004A5
	30 分		A004A6
	45 分		A004A7
	60 分		A004A8
	120 分		A004A9
	180 分		A004AA
	240 分		A004AB

2.4 ブザー音程設定

機能	状態	バーコード	コード
ブザー音程	低		A171A0
	中 (初期値)		A171A1
	高		A171A2

2.5 ブザー音量設定

機能	状態	バーコード	コード
ブザー音量	無し		A010A0
	小		A010A1
	中 (初期値)		A010A2
	大		A010A3

2.6 キータッチ音設定

機能	状態	バーコード	コード
キータッチ音	なし		AA12A0
	あり (初期値)		AA12A1

2.7 バイブレーション設定

機能	状態	バーコード	コード
バイブレーション	振動なし (初期値)		A025A0
	振動あり		A025A1

2.8 バーコード読取り失敗時のブザー音通知設定

機能	状態	バーコード	コード
バーコード読取り失敗時	通知あり (初期値)		A006A
	通知なし		A006B

2.9 Bluetooth 再接続/切断時のブザー音通知設定

機能	状態	バーコード	コード
Bluetooth 再接続/切断時	通知あり (初期値)		A005A
	通知なし		A005B

2.10 バーコード読取りタイムアウト設定

バーコードが何らかの原因で読取りできない場合、5 秒(初期値)でタイムアウトします。
タイムアウトは、01~10の2桁の値を設定することで、1~10秒まで1秒単位で変更することができます。
設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: タイムアウトを2秒にする場合、2桁「0 2」となり以下のように順にスキャンします。
「B113A」「0」「2」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
バーコード読取りタイムアウト	入力開始		B113A

3. HID 通信に関する設定

本項では HID 通信に関する設定についてご説明します。

3.1 HID 送信データフォーマット

HID 通信の送信データフォーマットは以下のとおりです。

バーコードデータの前後に 1 文字を付加できます、また、レコード毎に最大 3 文字まで文字を付加できます。

初期値の HID 送信データフォーマットは付加文字無しで「[BarCodeData][Return]」です。

[Header] [BarCodeData] [Footer] [Termination_1] [Termination_2] [Termination_3]

構成値	byte 数	初期値	備考
Header	1	無し	ヘッダー
BarCodeData	—	—	スキャンデータ
Footer	1	無し	フッター
Termination_1	1	Return (28h)	付加文字 1
Termination_2	1	無し	付加文字 2
Termination_3	1	無し	付加文字 3

3.2 ヘッダー (Header) の付加設定

ヘッダーは任意の 1 文字を付加できます。

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー	無し (初期値)		A115A

1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 「\$」を付加する場合、以下のように順にスキャンします。

「B115B」「2」「1」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー 通常キー配列	入力開始		B115A
ヘッダー Shift キー配列	入力開始		B115B
ヘッダー Alt キー + 通常キー	入力開始		B115C
ヘッダー Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B115D

3.3 フッター (Footer) の付加設定

フッターは任意の 1 文字を付加できます。

機能	状態	バーコード	コード
フッター	無し (初期値)		A116A

1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。
設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 「!」を付加する場合、以下のように順にスキャンします。
「B116B」「1」「E」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
フッター 通常キー配列	入力開始		B116A
フッター Shift キー配列	入力開始		B116B
フッター Alt キー + 通常キー	入力開始		B116C
フッター Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B116D

3.4 付加文字 1 (Termination_1) 設定

付加文字 1 は任意の 1 文字を付加できます。

初期値「Return(Enter)」です。 スキャンするたびに改行されます。

機能	状態	バーコード	コード
レコード毎の付加文字 1	Return(Enter) [※] (初期値)		B021A
			2
			8
			ZZ
	無し		A021A

※ 「B021A」「2」「8」「ZZ」の設定バーコードを順番に読取することで、「Return(Enter)」に戻すことができます。

付加文字は 1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。
設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 「Tab」を付加する場合、以下のように順にスキャンします。

「B021B」「2」「B」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
付加文字 1 通常キー配列	入力開始		B021A
付加文字 1 Shift キー配列	入力開始		B021B
付加文字 1 Alt キー + 通常キー	入力開始		B021C
付加文字 1 (Ctrl キー配列)	入力開始		B021D

3.5 付加文字 2 (Termination_2) 設定

付加文字 1 は任意の 1 文字を付加できます。

機能	状態	バーコード	コード
付加文字 2	無し (初期値)		A021B
付加文字 2 通常キー配列	入力開始		B021E
付加文字 2 Shift キー配列	入力開始		B021F
付加文字 2 Alt キー + 通常キー	入力開始		B021G
付加文字 2 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B021H

3.6 付加文字 3 (Termination_3) 設定

付加文字 1 は任意の 1 文字を付加できます。

機能	状態	バーコード	コード
付加文字 3	無し (初期値)		A021C
付加文字 3 通常キー配列	入力開始		B021I
付加文 3 Shift キー配列	入力開始		B021J
付加文字 3 Alt キー + 通常キー	入力開始		B021K
付加文字 3 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B021L

3.7 UP キー押下時の送信設定

UP キーを押下すると任意の 1 文字を送信する事が出来ます。

機能	状態	バーコード	コード
UP キー押下時のキーコード	無し (初期値)		AA00A

iPhone、iPad 等の iOS 機器のソフトウェアキーボードの表示 / 非表示を制御可能です。(Eject キー)

機能	バーコード	コード
UP キー押下時、 iOS 機器のキーボードの表示/非表示キー動作 有効		AA00B

UP キー押下時の文字は 1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。
設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例:UP キー押下時に「#」を送信する場合、以下のようにスキャンします。
「BA00B」「2」「0」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
UP キー押下時 通常キー配列	入力開始		BA00A
UP キー押下時 Shift キー配列	入力開始		BA00B
UP キー押下時 Alt キー + 通常キー	入力開始		BA00C
UP キー押下時 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		BA00D

3. 8 DOWN キー押下時の送信設定

DOWN キーを押下すると任意の 1 文字を送信する事が出来ます。

機能	状態	バーコード	コード
DOWN キー押下時のキーコード	無し (初期値)		AA01A

iPhone、iPad 等の iOS 機器のソフトウェアキーボードの表示 / 非表示を制御可能です。(Eject キー)

機能	バーコード	コード
DOWN キー押下時 iOS 機器のキーボードの表示/非表示キー動作 有効		AA01B

DOWN キー押下時の文字は 1 文字を英数字 2 文字で設定をします。「付録 2 キーコード」をご確認ください。
設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: DOWN キー押下時に「\$」を送信する場合、以下のようにスキャンします。

「BA01B」「2」「1」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
DOWN キー押下時 通常キー配列	入力開始		BA01A
DOWN キー押下時 Shift キー配列	入力開始		BA01B
DOWN キー押下時 Alt キー + 通常キー	入力開始		BA01C
DOWN キー押下時 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		BA01D



3.9 ファンクションキー押下時の送信設定

ファンクションキーを押下すると任意の 1 文字を送信する事が出来ます。

初期値は「Eject」です。

iPhone、iPad 等の iOS 機器のソフトウェアキーボードの表示／非表示を制御可能です。

Windows 機器では反応をしません。

機能	状態	バーコード	コード
ファンクションキー押下	無効		A022A
	有効(Eject キー) (初期値)		A022B

ファンクションキー押下時の文字は 1 文字を英数字 2 文字で設定をします。

「付録 2 キーコード」をご確認ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: ファンクションキー押下時に「%」を送信する場合、以下のようにスキャンします。

「B022B」「2」「2」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
ファンクションキー押下 通常キー配列	入力開始		B022A
ファンクションキー押下 Shift キー配列	入力開始		B022B
ファンクションキー押下 Alt キー + 通常キー	入力開始		B022C
ファンクションキー押下 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B022D

3. 10 キャラクタ間のディレイ時間設定

送信時にデータの桁落ちなど異常な現象が発生した場合はディレイ時間を長めに調整をしてください。

機能	状態	バーコード	コード
キャラクタ間のディレイ時間	無し		A024A0
	10ms		A024A1
	20ms (初期値)		A024A2
	30ms		A024A3
	40ms		A024A4
	50ms		A024A5
	60ms		A024A6
	70ms		A024A7
	80ms		A024A8
	90ms		A024A9
	100ms		A024AA

3. 11 iOS/Android と Windows でのキーボード配列設定

iOS、Android で使用する場合は英語設定にしてください。初期値は「英語」です。

Windows 機器でも英数字のみのバーコードを読取る場合は、初期値でも使用できます。

Windows 機器で記号が入ったバーコードの場合は日本語キーボード配列に設定してください。

※機器側は英語入力設定にしてください。日本語入力設定では全角文字で確定待ちの状態になります。

機能	状態	バーコード	コード
英語キーボード配列 iOS、Android 機器	英語 (初期値)		A013A1
日本語キーボード配列 Windows 機器	日本語		A013A2

3. 12 バーコード内英字の大文字/小文字変換設定

読み取ったバーコード内の英字を大文字/小文字に変換設定することができます。

本設定は英字を含む全ての種類のバーコードタイプに反映されます。

機能	状態	バーコード	コード
バーコード内の英字 大文字/小文字変換	変換無し (初期値)		A165A0
	全て大文字		A165A1
	全て小文字		A165A2
	大文字/小文字 逆転換		A165A3

4. SPP 通信に関する設定

本項では SPP 通信に関する設定についてご説明します。

4.1 接続方法設定

本機から接続を行うか、ホストデバイスからの接続を待つかを設定します。

本機から接続を行う場合、以下のタイミングでホストデバイスへ接続を行います。

- ・ スキャン開始への移行時
- ・ 未接続時にバーコードスキャン
- ・ 未接続時に UP キー、または、DOWN キーを押す

初期値は「本機から接続を行う」です。

機能	状態	バーコード	コード
接続方法	本機から 接続を行う (初期値)		A178B1
	ホストデバイス からの接続を 待つ		A178B0

4.2 接続先簡易切替え設定

複数のホストデバイスと組み合わせて使用する場合、本設定を有効にすることで接続先を容易に切替えることができます。

※ホストデバイスからの接続を待つ設定にしている場合は本機能を使用できません。

※接続するホストデバイスと事前にペアリングを行ってください。

※本機が「ペアリング済みのホストデバイス」を記憶できるのは最大 10 台です。

接続先を切替える場合、現在のホストデバイスとの接続を切ります。

その後、接続したいホストデバイスの Bluetooth デバイスアドレスのバーコードをスキャンすることでそのホストデバイスに接続します。

Bluetooth デバイスアドレスは Code 39 (チェックデジットなし) または Code 128 にて 12 桁のバーコードを作成してください。

Bluetooth デバイスアドレスの確認の方法については、ホストデバイスの説明書をご覧ください。

ホストデバイスの Bluetooth がオフ状態になっていた等の理由により接続ができなかった場合、ホストデバイスの Bluetooth が通信できる状態になっていることを確認後、再度 Bluetooth デバイスアドレスのバーコードをスキャンしてください。

機能	状態	バーコード	コード
Bluetooth 接続先簡易切替え	有効		A178A1
	無効 (初期値)		A178A0

4. 3 SPP 送信データフォーマット

SPP 通信の送信データフォーマットは以下のとおりです。

オリジナルのプロトコル(通信手順)を採用しているため、ホストデバイスの専用アプリケーションにて、Digit、Data 等で正常、異常のチェックを行うことができます。

もし、通信時に何らかの異常があった場合、専用アプリケーションにて任意の処理を促すことができるため、より安全な運用が可能となります。

[Prefix] [Digit] [Header] [Data] [Footer] [Suffix]

構成値	byte 数	初期値	備考
Prefix	1	有り STX(02h)	プリフィックス
Digit	1	有り	桁数 Header、Data、Footer および Status の各構成値のバイト数
Header	1	無し	ヘッダー
Data	—	—	スキャンデータ、または、キー押下時の送信データ
Status	1	—	バッテリステータス
Footer	1	無し	フッター
Suffix	1	有り ETX(03h)	サフィックス

4. 4 プリフィックス (Prefix) の付加設定

機能	状態	バーコード	コード
プリフィックス	有り (初期値)		A019E
	無し		A019F

4. 5 桁数 (Digit) の付加設定

機能	状態	バーコード	コード
桁数	有り (初期値)		A019A
	無し		A019B

4.6 ヘッダー (Header) の付加設定

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー	有り		A117A
	無し (初期値)		A117B

付加されるデータの初期値は「<(3Ch)」です。


変更する場合は、入力開始のバーコードをスキャンし、ASCII コードの英数字 2 文字で設定します。

ASCII コードについては「付録 1 ASCII コード表」をご覧ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: ヘッダーを「<」に変更する場合、以下のようにスキャンします。

「B117A」「2」「8」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー	入力開始		B117A

4.7 フッター (Footer) の付加設定

機能	状態	バーコード	コード
フッター	有り		A118A
	無し (初期値)		A118B

付加されるデータの初期値は「>(3Eh)」です。


変更する場合は、入力開始のバーコードをスキャンし、ASCII コードの英数字 2 文字で設定します。

ASCII コードについては「付録 1 ASCII コード表」をご覧ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: フッターを「>」に変更する場合、以下のようにスキャンします。

「B118A」「2」「9」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
フッター	入力開始		B118A

4.8 サフィックス (Suffix) の付加設定

機能	状態	バーコード	コード
サフィックス	有り (初期値)		A019G
	無し		A019H

4.9 バッテリステータス通知

設定が有効の時、以下のタイミング(状態変化)でホストデバイスにバッテリーの状態を送信します。
初期値は「無効」です。

通知タイミング(状態変化)
① スキャン時
② Bluetooth 接続時 ※通知が2回送信される場合があります
③ Bluetooth 接続中の自動電源 OFF 時
④ 充電開始時
⑤ 充電停止時

バッテリーステータスの各状態は以下になります。

Status	状態
F	バッテリー残量レベル 3
M	バッテリー残量レベル 2
L	バッテリー残量レベル 1 (残量低: スキャン可)
E	バッテリー残量レベル 0 (残量わずか: スキャン不可)
C	AC 電源接続中

4.9.1 バッテリステータス通知設定

機能	状態	バーコード	コード
バッテリーステータス通知	無効 (初期値)		AA10A0
	有効		AA10A1

4. 10 UP キー押下時の送信設定

UP キーを押下すると ASCII コード 1 文字を送信する事が出来ます。


機能	状態	バーコード	コード
UP キー押下時の ASCII コード送信	有効 (初期値)		A019I
	無効		A019J

送信データの初期値は「+(2Bh)」です。

変更する場合は、入力開始のバーコードをスキャンし、ASCII コードの英数字 2 文字で設定します。

ASCII コードについては「付録 1 ASCII コード表」をご覧ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

機能	状態	バーコード	コード
UP キー押下時の ASCII コード送信	入力開始		B019C

4. 11 DOWN キー押下時の送信設定

DOWN キーを押下すると ASCII コード 1 文字を送信する事が出来ます。


機能	状態	バーコード	コード
ーキー押下時の ASCII コード送信	有効 (初期値)		A019K
	無効		A019L

送信データの初期値は「-(2Dh)」です。

変更する場合は、入力開始のバーコードをスキャンし、ASCII コードの英数字 2 文字で設定します。

ASCII コードについては「付録 1 ASCII コード表」をご覧ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

機能	状態	バーコード	コード
ーキー押下時の ASCII コード送信	入力開始		B019D

4. 12 ファンクションキー押下時の送信設定

ファンクションキーを押下すると ASCII コード 1 文字を送信する事が出来ます。


機能	状態	バーコード	コード
ファンクションキー押下時の ASCII コード送信	有効 (初期値)		A019M
	無効		A019N

送信データの初期値は「*(2Ah)」です。

変更する場合は、入力開始のバーコードをスキャンし、ASCII コードの英数字 2 文字で設定します。

ASCII コードについては「付録 1 ASCII コード表」をご覧ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

機能	状態	バーコード	コード
ファンクションキー押下時の ASCII コード送信	入力開始		B019E

4. 13 フロー制御

本機はフロー制御 (ACK/NAK) が使用可能です。

ホストデバイス側の専用アプリケーションにて、Digit、Data 等のチェック処理を行い、その結果によって、ACK (肯定応答) または NAK (否定応答) を本機へ送信することで、より信頼性の高い通信が可能となります。

初期値は「ACK/NAK 有効」のため、フロー制御を使用しない場合は「ACK/NAK 設定」を「無効」にしてください。

制御文字	説明
ACK (06h)	ACK 受信後、次のバーコードスキャンが可能になります
NAK (15h)	NAK 受信後、リトライサイクルの設定回数に従いデータ送信のリトライを行います

4. 13. 1 ACK/NAK 設定

ホストデバイスより ACK を受信した場合、次のバーコードスキャンが可能になります。

NAK を受信した場合はリトライサイクルの設定回数に従いデータ送信のリトライを行います。

機能	状態	バーコード	コード
ACK/NAK	有効 (初期値)		A020A
	無効		A020B

4. 13. 2 リトライサイクル設定

NAK の受信 または タイムアウトした場合、設定した回数のデータ送信リトライを行います。
設定回数をオーバーした場合はバーコード読取り失敗となります。

機能	状態	バーコード	コード
リトライサイクル	無し		A020D0
	1回		A020D1
	2回 (初期値)		A020D2
	3回		A020D3







4. 13. 3 タイムアウト設定

設定した時間を越えても ACK/NAK が受信できない場合、リトライサイクルの設定回数に従いデータ送信のリトライを行います。

機能	状態	バーコード	コード
タイムアウト	100ms		A020C1
	200ms		A020C2
	300ms		A020C3
	500ms		A020C4
	1s		A020C5
	2s (初期値)		A020C6
	3s		A020C7
	5s		A020C8




5. バーコード読取りに関する設定

5.1 一次元反転バーコード読取り設定

機能	状態	バーコード	コード
一次元反転バーコード読取り	通常バーコードのみ (初期値)		A098A0
			
	反転バーコードのみ		A098A1
			
	自動		A098A2
			

5.2 コード ID キャラクタ転送設定

バーコードタイプ毎に読取ったバーコードの先頭に AIM コードまたは Symbol コードキャラクタを付加できます。これにより、バーコードの分類が可能になります。

機能	状態	バーコード	コード
コード ID キャラクタ転送	無効 (初期値)		A112A0
	AIM コード		A112A1
	Symbol コード		A112A2

5. 2. 1 AIM コードの付加設定

各 AIM コードは、3 つの文字列で構成されます。

]	フラグキャラクタ (5Dh)
c	コードキャラクタ
m	修飾子

各バーコードのコードキャラクタは以下になります。

コードキャラクタ	バーコードタイプ
E	UPC、JAN/EAN
A	Code 39
F	NW7 (Codabar)
C	Code 128/GS1-128
I	ITF (Interleaved 2 of 5)
e	GS1 DataBar

各バーコードの修飾子は以下になります。

バーコードタイプ	修飾子	状態
UPC/JAN/EAN	0	UPC-E、UPC-A、JAN/EAN-13 の標準バーコードの場合
	3	UPC-E、UPC-A および JAN/EAN-13 にて +2 桁または 5 桁のアドオンの場合
	4	JAN/EAN-8 の標準バーコードの場合
	7	JAN/EAN-8 にて +2 桁または 5 桁のアドオンの場合
	例: 12345670 をスキャンすると]E412345670 となります	
Code 39	0	チェックデジット転送有効、検証無効の場合
	1	チェックデジット転送有効、検証有効の場合
	3	チェックデジット転送無効の場合
	例: チェックデジット検証有効 + チェックデジット転送有効の設定で 1234567S をスキャンすると]A11234567S となります	
Code 128 GS1-128	0	FNC1 が START コード直後にない場合
	1	FNC1 が START コード直後にある場合
	例: <FNC1>12345678 をスキャンすると]C112345678 となります	
NW7 (Codabar)	0	チェックデジット転送有効、検証無効の場合
	2	チェックデジット転送有効、検証有効の場合
	4	チェックデジット転送無効、検証無効の場合
	6	チェックデジット転送無効、検証有効の場合
	例: チェックデジット検証有効 + チェックデジット転送有効の設定で 12345672 をスキャンすると]F212345672 となります	

ITF (Interleaved 2of5)	0	チェックデジット転送有効、検証無効の場合
	1	チェックデジット転送有効、検証有効の場合
	2	チェックデジット転送無効、検証無効の場合
	3	チェックデジット転送無効、検証有効の場合
	例: チェックデジット検証有効+チェックデジット転送有効の設定で 1234567890123452 をスキャンすると]I11234567890123452 となります	
GS1 DataBar	0	常に 0 となります
	例: (01)01234567890128 をスキャンすると]e00101234567890128 となります	

5. 2. 2 Symbol コードキャラクタの付加設定

Symbol コードキャラクタは任意の値に変更が可能です。

各バーコードの Symbol コードキャラクタの初期値は以下になります。

コードキャラクタ	ASCII コード	バーコードタイプ
A	41h	UPC-A、UPC-E、JAN/EAN-13、JAN/EAN-8
B	42h	Code 39
C	43h	NW7 (Codabar)
D	44h	Code 128
K	4Bh	GS1-128
F	46h	ITF (Interleaved 2 of 5)
R	52h	GS1 DataBar

Symbol コードキャラクタは ASCII コード 2 文字で初期値以外の任意の文字が設定できます。



ASCII コードについては「付録 1 ASCII コード表」をご確認ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。




例: JAN/EAN-13 の Symbol コードキャラクタを「E」にする場合、「E」は ASCII コードで「4」「5」なので
以下のようにスキャンします。

「B179A2」「4」「5」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A	入力開始		B179A0
UPC-E	入力開始		B179A1
JAN/EAN-13	入力開始		B179A2
JAN/EAN-8	入力開始		B179A3

Code 39	入力開始		B179A4
NW7(Codabar)	入力開始		B179A5
Code 128	入力開始		B179A7
GS1-128	入力開始		B179AF
ITF (Interleaved 2 of 5)	入力開始		B179A8
GS1 DataBar	入力開始		B179AE

5.3 スキャンモード

機能	状態	バーコード	コード
スキャンモード	スキャンキー 連動 (初期値)		A040A0
	連続読取り 1		A040A1
	連続読取り 2		A040A3

※連続読取り 1 は同一バーコードを連続で読取らないモードです。

他のバーコードを読み取ると再度読み取ることができます。

連続読取り 2 は同一バーコードを連続で読取ることができるモードです。

5.4 照合回数

バーコード読取り時の照合回数を設定します。

機能	状態	バーコード	コード
照合回数	0 回		A041A0
	1 回		A041A1
	2 回 (初期値)		A041A2
	3 回		A041A3
	4 回		A041A4

5.5 クワイエットゾーン

バーコード読取り時のクワイエットゾーンのマージンチェックを設定します。

機能	状態	バーコード	コード
クワイエットゾーン	なし		A041B0
	標準の 1/7		A041B1
	標準の 2/7		A041B2
	標準の 3/7		A041B3
	標準の 4/7		A041B4
	標準の 5/7		A041B5
	標準の 6/7		A041B6
	標準 (初期値)		A041B7

5.6 バーコード読取り無効化設定

バーコード読取り無効化の設定をすることで全てのバーコードの読取りが無効になります。

その他、チェックデジット転送等のバーコード読取りに関する詳細な設定は全て出荷状態（初期値）に戻ります。

読取るバーコードの種類を特定することにより、誤読防止や読取り速度の向上ができます。

例えば、UPC-A のみを読取る場合は、最初にバーコード読取り無効化のバーコードを読み、その後 UPC-A の読取り有効化バーコードを読みます。UPC-A 以外のバーコードは読取れなくなります。

機能	バーコード	コード
バーコード読取り無効化		A167A0

5.7 デコードの厳密さ

機能	状態	バーコード	コード
デコードの厳密さ	緩い (初期値)		AD01A0
	厳しい		AD01A1

5.8 UPC-A

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A	無効		A042A0
	有効 (初期値)		A042A1
UPC-A チェックデジット転送	無効		A052A0
	有効 (初期値)		A052A1
UPC-A から EAN-13 への変換	無効		AB01A0
	有効 (初期値)		AB01A1
UPC-A アドオン 2 桁 有効とした場合、アドオン部分にスキャナが照射されていない場合、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB06B0
	有効		AB06B1
UPC-A アドオン 5 桁 有効とした場合、アドオン部分にスキャナが照射されていない場合、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB06C0
	有効		AB06C1

5.9 UPC-E

機能	状態	バーコード	コード
UPC-E	無効		A043A0
	有効 (初期値)		A043A1
UPC-E チェックデジット転送	無効		A053A0
	有効 (初期値)		A053A1
UPC-E から UPC-A への変換	無効 (初期値)		A058A0
	有効		A058A1
UPC-E アドオン 2 桁 有効とした場合、アドオン部分にスキャナが照射されていなければ、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB12B0
	有効		AB12B1
UPC-E アドオン 5 桁 有効とした場合、アドオン部分にスキャナが照射されていなければ、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB12C0
	有効		AB12C1

5. 10 JAN/EAN-13

機能	状態	バーコード	コード
JAN/EAN-13	無効		A046A0
	有効 (初期値)		A046A1
JAN/EAN-13 チェックデジット転送	無効		A172A1
	有効 (初期値)		A172A0
JAN/EAN-13 アドオン 2 桁 有効の場合、アドオン部分にスキャナが照射されていない場合は、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB18B0
	有効		AB18B1
JAN/EAN-13 アドオン 5 桁 /定期刊行物コード(雑誌) 有効の場合、バーコード全体を読むようにスキャナが照射されていない場合は、アドオン部は読取れない場合があります。 雑誌コードのみ有効の場合、バーコード全体を読むようにスキャナ照射をしないと読取れません。	無効 (初期値)		AB18C0
	有効		AB18C1
	雑誌コードのみ 有効		AB18C2



5. 11 JAN/EAN-8

機能	状態	バーコード	コード
JAN/EAN-8	無効		A045A0
	有効 (初期値)		A045A1
JAN/EAN-8 チェックデジット転送	無効		AB20A0
	有効 (初期値)		AB20A1
JAN/EAN-8 アドオン 2 桁 有効の場合、アドオン部分にスキャナが照射されていない場合は、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB24B0
	有効		AB24B1
JAN/EAN-8 アドオン 5 桁 有効の場合、アドオン部分にスキャナが照射されていない場合は、アドオン部の読取りが出来ない場合があります。	無効 (初期値)		AB24C0
	有効		AB24C1

5. 12 Code 39

機能	状態	バーコード	コード
Code 39	無効		A071A0
	有効 (初期値)		A071A1
Code 39 チェックデジット検証 有効とした場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります	無効 (初期値)		A076A0
	有効		A076A1
Code 39 チェックデジット転送 有効とした場合でも、チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます	無効 (初期値)		A077A0
	有効		A077A1
Code 39 スタート・ストップキャラクタ転送	無効 (初期値)		AB26A0
	有効		AB26A1

5. 13 Code 128/GS1-128

機能	状態	バーコード	コード
Code 128	無効		A065A0
	有効 (初期値)		A065A1
GS1-128	無効		A067A0
	有効 (初期値)		A067A1

5. 14 NW7 (Codabar)

機能	状態	バーコード	コード
NW7 (Codabar)	無効		A099A0
	有効 (初期値)		A099A1
NW7 (Codabar) スタート・ストップキャラクタ除去	無効		A102A0
	有効 (初期値)		A102A1
NW7 (Codabar) チェックデジット検証 有効の場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります	無効 (初期値)		AB31A0
	有効		AB31A1
NW7 (Codabar) チェックデジット転送 チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます	無効		AB32A0
	有効 (初期値)		AB32A1
NW7 (Codabar) スタート・ストップキャラクタ設定	ABCD/ABCD (初期値)		AB34A0
	abcd/abcd		AB34A1
	abcd/tn*e		AB34A2

5. 15 ITF (Interleaved 2 of 5)

機能	状態	バーコード	コード
ITF (Interleaved 2 of 5)	無効		A085A0
	有効 (初期値)		A085A1
ITF チェックデジット検証 有効の場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります	無効 (初期値)		A087A0
	有効		A087A1
ITF チェックデジット転送 チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます	無効		A088A0
	有効 (初期値)		A088A1

5. 16 GS1 DataBar

機能	状態	バーコード	コード
GS1 DataBar Omnidirectional	無効		A108A0
	有効 (初期値)		A108A1
GS1 DataBar Limited	無効		A109A0
	有効 (初期値)		A109A1
GS1 DataBar Expanded	無効		A110A0
	有効 (初期値)		A110A1
GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded アプリケーション識別子転送	無効		A170A1
	有効 (初期値)		A170A0
GS1DataBar から EAN-13 へ変換	無効 (初期値)		A111A0
	有効		A111A1



6. GS1-128(UCC/EAN-128)バーコードの変換に関する設定

6.1 アプリケーション識別子(AI)毎に括弧「()」を付加する設定

GS1-128 は、商品コード、有効期限、数量やロット番号等のデータの先頭にアプリケーション識別子(AI)があります。

それにより、データの範囲や意味を解釈することができます。

以下のバーコードをスキャンすることで AI 毎に「()」を付加して表示することができます。

機能	状態	バーコード	コード
AI 毎に括弧「()」を付加	()を付加しない (初期値)		A168A0
	()を付加する		A168A1

6.2 可変長区切り文字の付加設定(SPP)

GS1-128 では、数量やロット番号のような可変長データを取り扱います。

可変長データの終端に区切り文字としてシンボルキャラクタ FNC1 を挿入するという仕様になっています。

本機は、ホストデバイスに対して可変長データの終端を知らせるため、FNC1 の位置に可変長区切り文字を挿入して出力します。

機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字	有り (初期値)		A123A
	無し		A123B

可変長区切り文字の初期値は「GS(1Dh)」です。


変更する場合は、入力開始のバーコードをスキャンし、ASCII コードの英数字 2 文字で設定します。

ASCII コードについては「付録 1 ASCII コード表」をご覧ください。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 可変長区切り文字を「SP(スペース)」に変更する場合、以下のようにスキャンします。

「B123A」「2」「0」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字	入力開始		B123A

6.3 可変長区切り文字の変換設定(HID)

GS1-128 では、数量やロット番号のような可変長データを取り扱います。

可変長データの終端に区切り文字としてシンボルキャラクタ FNC1 を挿入するという仕様になっています。

本機は、ホストデバイスに対して可変長データの終端を知らせるため、FNC1 の位置に可変長区切り文字を挿入して出力します。

機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字	/※ (初期値)		B122A
			3
			8
			ZZ
	無し		A122A

※ 「B122A」「3」「8」「ZZ」の設定バーコードを順番に読取ることで、「/」に戻すことができます。

可変長区切り文字は任意の文字が設定できます。

キーコードについては「付録 2 キーコード」をご確認ください。






設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 可変長区切り文字を「#」に変更する場合、以下のようにスキャンします。

「B122B」「2」「0」「ZZ」

機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字 通常キー配列	入力開始		B122A
可変長区切り文字 Shift キー配列	入力開始		B122B
可変長区切り文字 Alt キー + 通常キー	入力開始		B122C
可変長区切り文字 Ctrl キー + 通常キー	入力開始		B122D

6.4 可変長区切り文字 (GS キャラクタ) 送信後のディレイ時間設定

機能	状態	バーコード	コード
GS キャラクタ送信後のディレイ時間	無し (初期値)		A125A0
	100ms		A125A1
	200ms		A125A2
	300ms		A125A3
	500ms		A125A4

7. 読取り桁数に関する設定

読取るバーコードの桁数を指定することで、誤読を防ぐことができます。

桁数指定の方法により、読めないと判定される可能性もありますので、ご使用前に読取る桁数について十分にご確認をお願いします。

バーコード読取り桁数に関する初期値は以下のようになっています。

項目	初期値
Code 39 桁数指定	01～55 桁
Code 128 桁数指定	01～55 桁
NW7(Codabar) 桁数指定	01～55 桁
ITF(Interleaved 2 of 5) 桁数指定	04～55 桁

機能	状態	バーコード	コード
Code 39 桁数指定	入力開始		B075D
Code 128 桁数指定	入力開始		B066D
NW7(Codabar) 桁数指定	入力開始		B100D
ITF(Interleaved 2 of 5) 桁数指定	入力開始		B086D

読取り桁数を下限と上限を指定します。56 桁以上は設定できません。

下限 2 桁、上限 2 桁の 4 桁値を設定する事で変更ができます。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

例： 5～18 桁のバーコードのみ読取る場合、5 は「0」「5」、18 は「1」「8」となります。順に、にスキャンします。

4 文字未満で「ZZ」を読んだときは読取り継続となります。

「B075D」「0」「5」「1」「8」「ZZ」

読取りコード桁数設定時のご注意

- ・チェックデジットが付加されているバーコード
チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データ+チェックデジットの桁数を指定してください。
- ・チェックデジットが付加されていないバーコード
チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データの桁数を指定してください。
ただし、チェックデジット検証が有効の場合、桁数に関わらず読取りができません。
チェックデジットが付加されていないバーコードを読取る場合はチェックデジット検証を無効に設定してください。
- ・スタート・ストップキャラクタ転送が有効でもスタート・ストップキャラクタを含めない桁数を設定してください。
- ・指定した桁数以外の Code 128 バーコードを読取ろうとした場合、一瞬でスキャンが中断します。
”読取り成功“とお間違えのないようご注意ください。

8. 先頭桁切捨ておよび後尾桁切捨て設定

指定した数だけ読取ったバーコードの先頭又は語尾の桁数を切捨てます。

先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0~9、A~F の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。

設定する際、英数字と「ZZ」バーコードは「12. 英数字バーコード」をご使用ください。

8.1 UPC-A

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A 先頭桁切捨て	入力開始		BB03A
UPC-A 後尾桁切捨て	入力開始		BB04A

00~0D(0~13)桁で指定します。0E(14)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB03A」「0」「1」「ZZ」

8.2 UPC-E

機能	状態	バーコード	コード
UPC-E 先頭桁切捨て	入力開始		BB09A
UPC-E 後尾桁切捨て	入力開始		BB10A

00~08(0~8)桁で指定します。09(9)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB09A」「0」「1」「ZZ」

8.3 JAN/EAN-13

機能	状態	バーコード	コード
JAN/EAN-13 先頭桁切捨て	入力開始		BB15A
JAN/EAN-13 後尾桁切捨て	入力開始		BB16A

00~0D(0~13)桁で指定します。0E(14)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB15A」「0」「1」「ZZ」

8. 4 JAN/EAN-8

機能	状態	バーコード	コード
JAN/EAN-8 先頭桁切捨て	入力開始		BB21A
JAN/EAN-8 後尾桁切捨て	入力開始		BB22A

00~08(0~8)桁で指定します。09(9)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB21A」「0」「1」「ZZ」

8. 5 Code 39

機能	状態	バーコード	コード
Code 39 先頭桁切捨て	入力開始		BB27A
Code 39 後尾桁切捨て	入力開始		BB28A

00~32(0~50)桁で指定します。33(51)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB27A」「0」「1」「ZZ」

8. 6 Code 128

機能	状態	バーコード	コード
Code 128 先頭桁切捨て	入力開始		BB51A
Code 128 後尾桁切捨て	入力開始		BB52A

00~3C(0~60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB51A」「0」「1」「ZZ」

8. 7 NW7 (Codabar)

機能	状態	バーコード	コード
NW7 (Codabar) 先頭桁切捨て	入力開始		BB36A
NW7 (Codabar) 後尾桁切捨て	入力開始		BB37A

00～3C(0～60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB36A」「0」「1」「ZZ」

8. 8 ITF (Interleaved 2 of 5)

機能	状態	バーコード	コード
ITF (Interleaved 2 of 5) 先頭桁切捨て	入力開始		BB55A
ITF (Interleaved 2 of 5) 後尾桁切捨て	入力開始		BB56A

00～3C(0～60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

「BB55A」「0」「1」「ZZ」

9. 設定出力


現在の設定値をホストデバイスへ送信します。

設定項目ごとに改行が送信されますので、改行で次へ移動したり、特定の動作を行ったりする項目には表示させないでください。

また、HID モードの場合、本機のキーボード配列設定をホストデバイスに合わせてください。

設定が合っていないと、表示が文字化けしてしまいます。

ホストデバイスが iOS、Android の場合は英語キーボード配列、Windows の場合は日本語キーボード配列に設定してください。

機能	状態	バーコード	コード
設定出力	入力開始		AC01A

10. 出荷時の設定 (初期値)

10.1 システムに関する出荷時の設定

項目	初期値
動作モード	HID
デバイス名	CyclopsM + Bluetooth デバイスアドレスの下 4 桁
Bluetooth PIN コード	0000
電源 OFF 時間	10 分
ブザー音程	中
ブザー音量	中
キータッチ音	あり
バイブレーション	振動なし
バーコード読取り失敗時のブザー音通知	通知あり
Bluetooth 再接続/切断時のブザー音通知	通知あり
バーコード読取タイムアウト	5 秒

10.2 HID 通信に関する出荷時の設定

項目	初期値
HID 送信データフォーマット	[Data]Return
ヘッダーの付加	無し
フッターの付加	無し
付加文字 1	Return
付加文字 2	無し
付加文字 3	無し
UP キー押下時の送信	無し
DOWN キー押下時の送信	無し
ファンクションキー押下時の送信	Eject
キャラクタ間のデレイ時間	20ms
iOS/Android と Windows でのキーボード配列	英語
バーコード内英字の大文字/小文字変換	変換無し

10.3 SPP 通信に関する出荷時の設定

項目	初期値
接続方法	本機から接続を行う
接続先簡易切替え	無効
SPP 送信データフォーマット	STX[Digit][Data]ETX
プリフィックスの付加	有り
桁数の付加	有り
ヘッダーの付加	無し
フッターの付加	無し
サフィックスの付加	有り
バッテリーステータス通知	無効
UP キー押下時の送信	有効
DOWN キー押下時の送信	有効
ファンクションキー押下時の送信	有効
ACK/NAK	有効
リトライサイクル	2 回
タイムアウト	2 秒

10.4 バーコード読取に関する出荷時の設定

項目	初期値
1次元反転バーコード読取	通常バーコードのみ
コードIDキャラクタ転送	無効
スキャンモード	スキャンキー連動
照合回数	2回
クワイエットゾーン	標準
デコードの厳密さ ※バージョン 2.04 より設定追加	緩い
UPC-A	有効
UPC-A チェックデジット転送	有効
UPC-A から EAN-13 への変換	無効
UPC-A アドオン 2 桁	無効
UPC-A アドオン 5 桁	無効
UPC-E	有効
UPC-E チェックデジット転送	有効
UPC-E から UPC-A への変換	無効
UPC-E アドオン 2 桁	無効
UPC-E アドオン 5 桁	無効
JAN/EAN-13	有効
JAN/EAN-13 チェックデジット転送	有効
JAN/EAN-13 アドオン 2 桁	無効
JAN/EAN-13 アドオン 5 桁/定期刊行物コード(雑誌)	無効
JAN/EAN-8	有効
JAN/EAN-8 チェックデジット転送	有効
JAN/EAN-8 アドオン 2 桁	無効
JAN/EAN-8 アドオン 5 桁	無効
Code 39	有効
Code 39 チェックデジット検証	無効
Code 39 チェックデジット転送	無効
Code 39 スタート・ストップキャラクタ転送	無効
Code 128	有効
GS1-128	有効
GS1-128 アプリケーション識別子(AI)毎に括弧を付加	()を付加しない
GS1-128 可変長区切り文字の付加(HID)	/ (スラッシュ)
GS1-128 可変長区切り文字の付加(SPP)	有効
GS1-128 可変長区切り文字送信後のディレイ時間	無し
NW7(Codabar)	有効
NW7(Codabar) スタート・ストップキャラクタ除去	有効
NW7(Codabar) チェックデジット検証	無効
NW7(Codabar) チェックデジット転送	有効
NW7(Codabar) スタート・ストップキャラクタ設定	ABCD/ABCD
ITF(Interleaved 2 of 5)	有効
ITF チェックデジット検証	無効
ITF チェックデジット転送	有効
GS1 DataBar Omnidirectional	有効
GS1 DataBar Limited	有効
GS1 DataBar Expanded	有効
GS1 DataBar アプリケーション識別子転送	有効
GS1 DataBar から EAN-13 への変換	無効

11. 複数台の設定用バーコード表の作成

あらかじめ設定バーコード表を作成し、順に設定バーコードを読み取ることにより、複数台の CyclopsM へ同じ設定を簡単に反映させることができます。

尚、設定バーコードは、弊社ホームページの「CyclopsM 設定サイト」で簡単に作成ができます。

「設定バーコード作成」を選択してください。

CyclopsM 製品ページ : <https://www.alf-net.co.jp/products/data-collector/cyclops-m-alfark-6100x/>

コードもしくはパラメータのみを入力し、生成ボタンをクリックしてバーコードを作成してください。

作成後、そのまま画面をスキャンするか、印刷をしてお使いください。

また、バーコード画像をコピーして、設定バーコード表を作成してお使いください。

(例)















設定バーコード作成


設定ガイドの「コード」を入力し、設定バーコードを生成します。
必要な設定のバーコードを生成して、順にスキャンしてください。
入力開始コードの場合は、続けて英数字バーコードを1桁ずつ入力して、生

No.1	A004A8	生成	電源 OFF 時間を「60 分」に設定
No.2	A025A1	生成	バイブレーションを「振動あり」に設定
No.3	B113A	生成	バーコード読み取りタイムアウトを「2 秒」に設定
No.4	0	生成	
No.5	2	生成	
No.6	ZZ	生成	
No.7	B115B	生成	BT スキャナモードでの HID 通信に関する設定のヘッダーを「\$」に設定
No.8	2	生成	
No.9	1	生成	
No.10	ZZ	生成	



























12. 英数字バーコード



























英数字の入力に使用します。

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
数字 (16 進数)		0		8
		1		9
		2		A
		3		B
		4		C
		5		D
		6		E
		7		F

機能	バーコード	コード
入力終了※		ZZ
入力中止		CL

※ 各設定で入力終了バーコードを読んだ時に、エラー音がなった場合は、入力中止バーコードを読んだ後に「入力開始」バーコードからやり直してください。

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
英字 (大文字)		A		B
		C		D
		E		F
		G		H
		I		J
		K		L
		M		N
		O		P
		Q		R
		S		T
		U		V
		W		X
		Y		Z

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
英字 (小文字)		a		B
		c		D
		e		F
		g		H
		i		J
		k		L
		m		N
		o		P
		q		R
		s		T
		u		V
		w		X
		y		z

付録 1 ASCII コード表

ASCII コードは以下の通りです。こちらを参考に設定を行ってください。

1 文字目→ ↓ 2 文字目	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUM	*		J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	}	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

※グレーとなっているコードは、SPP 通信でのみ設定できます。

付録 2 キーコード表

キーコードを 2 文字で入力します。

例 「9」を選択する場合、1 文字目は横列の 2 となり、2 文字目は縦列の 6 となり、[2][6]の 2 文字となります。

iOS、Android 端末等の英語キーボード 通常入力

1 文字目→ ↓ 2 文字目	0	1	2	3	4	5	6
0		m	3]	F7	Left	8
1		n	4	\	F8	Down	9
2		o	5		F9	Up	0
3		p	6	;	F10	Num Lock	.
4	a	q	7	'	F11	/	
5	b	r	8		F12	*	
6	c	s	9	,	Print Screen	-	
7	d	t	0	.	Scroll Lock	+	
8	e	u	Enter	/	Pause	Enter	
9	f	v	ESC	Caps Lock	Insert	1	
A	g	w	Back Space	F1	Home	2	
B	h	x	Tab	F2	Page Up	3	
C	i	y	SP	F3	Delete	4	
D	j	z	-	F4	End	5	
E	k	1	=	F5	Page Down	6	
F	l	2	[F6	Right	7	

※「5」「3」～「6」「3」迄はテンキーのキーコードとなります。

例: z = 1D

iOS、Android 端末等の英語キーボード Shift 入力

1文字目→ ↓2文字目	0	1	2	3	4	5	6
0		M	#	}	F7	Left	Up
1		N	\$		F8	Down	Page UP
2		O	%	~	F9	Up	Insert
3		P	^	:	F10	Clear	Delete
4	A	Q	&	“	F11	/	
5	B	R	*		F12	*	
6	C	S	(<	Print Screen	-	
7	D	T)	>	Scroll Lock	+	
8	E	U	Enter	?	Pause	Enter	
9	F	V	ESC	Caps Lock	Insert	End	
A	G	W	Back Space	F1	Home	Down	
B	H	X	Tab	F2	Page Up	Page Down	
C	I	Y	SP	F3	Delete	Left	
D	J	Z	_	F4	End		
E	K	!	+	F5	Page Down	Right	
F	L	@	{	F6	Right	Home	

※「5」「3」～「6」「3」迄はテンキーのキーコードとなります。

例:& = 24

Windows 端末等の日本語キーボード 通常入力

1文字目→ ↓2文字目	0	1	2	3	4	5	6
0		m	3	[F7	Left	8
1		n	4]	F8	Down	9
2		o	5		F9	Up	0
3		p	6	;	F10	Num Lock	.
4	a	q	7	:	F11	/	
5	b	r	8		F12	*	
6	c	s	9	,	Print Screen	-	
7	d	t	0	.	Scroll Lock	+	
8	e	u	Enter	/	Pause	Enter	
9	f	v	ESC	Caps Lock	Insert	1	
A	g	w	Back Space	F1	Home	2	
B	h	x	Tab	F2	Page Up	3	
C	i	y	SP	F3	Delete	4	
D	j	z	-	F4	End	5	
E	k	1	^	F5	Page Down	6	
F	l	2	@	F6	Right	7	

※「5」「3」～「6」「3」迄はテンキーのキーコードとなります。

例: z = 1D

Windows 端末等の日本語キーボード Shift 入力

1 文字目→ ↓ 2 文字目	0	1	2	3	4	5	6
0		M	#	{	F7	Left	Up
1		N	\$	}	F8	Down	Page UP
2		O	%		F9	Up	Insert
3		P	&	+	F10	Num Lock	Delete
4	A	Q	'	*	F11	/	
5	B	R	(F12	*	
6	C	S)	<	Print Screen	-	
7	D	T		>	Scroll Lock	+	
8	E	U	Enter	?	Pause	Enter	
9	F	V	ESC	Caps Lock	Insert	End	
A	G	W	Back Space	F1	Home	Down	
B	H	X	Tab	F2	Page Up	Page Down	
C	I	Y	SP	F3	Delete	Left	
D	J	Z	=	F4	End		
E	K	!	~	F5	Page Down	Right	
F	L	“	`	F6	Right	Home	

※「5」「3」～「6」「3」迄はテンキーのキーコードとなります。

例:& = 23

改訂履歴

版数	変更内容	改定日
1.0	初版	2021/09/16
1.1	内容更新 デコードの厳密さ設定の追加	2023/06/27